

新・こどもと健康

No.99

2025.4.1

四種混合販売中止について 第2報

先月の新・こどもと健康No.98でお伝えした四種混合ワクチン販売中止について、堺市の対応が通達されました。四種混合が未完了の方には個別通知がされることになり、既に発送されたようです。また、広報にも掲載されるはずですが、これまで厚生労働省は同一種類のワクチンを用いて接種を完了することを前提としていましたが、今回の販売終了に伴い、四種混合ワクチンとヒブワクチンの接種回数異なる場合には、回数を合わせてから不足分を五種混合ワクチンで接種可能とされました。ヒブワクチンの追加接種が終わってしまっていて、テトラビックが手に入らなくなった場合、三種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンで接種することが検討されています。

出典：堺感対第4694号『四種混合ワクチン販売終了に係る対応について』

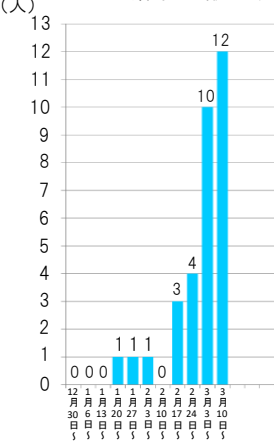
ムンプスワクチン不足について

第一三共株式会社が販売しているおたふくかぜ生ワクチン「第一三共」で、3月以降に出荷予定分の有効成分の力価が同社規格を満たしていないことから、9月出荷再開日途まで欠品中です。代替品として武田薬品工業株式会社の『乾燥弱毒生おたふくワクチン「タケダ」』で補われることになっていますが、供給が不安定になっています。

出典：第一三共株式会社HP『おたふくかぜ生ワクチン「第一三共」限定出荷および欠品に関するお詫びとお知らせ』

麻疹拡大中

日本における2025年週別の麻疹の報告数



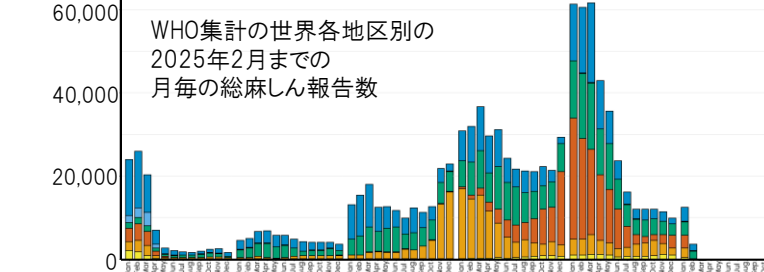
出典：国立感染症研究所HP『週別麻疹報告数2025年 第1～11週』

日本における2025年麻疹の報告(発症日順)

年齢層	性別	発症日	ワクチン歴	渡航歴	経路
1 東京都	30歳代 男性	1月12日	なし	なし	
2 岡山県	40歳代 男性	1月21日	不詳	あり	ベトナム
3 岡山県	40歳代 男性	1月31日	不詳	あり	ベトナム
4 山口県	20歳代 女性	2月12日	不明	あり	フィリピン
5 愛知県	20歳代 女性	2月14日	2回	あり	ベトナム
6 山口県	20歳代 男性	2月16日	1回	なし	
7 神奈川県	20歳代 女性	2月17日	なし	なし	
8 神奈川県	40歳代 男性	2月18日	1回	あり	ベトナム
9 宮城県	10歳未満 女性	2月23日	不詳	あり	ベトナム
10 茨城県	10歳未満 男性	2月26日	不詳	あり	パキスタン
11 千葉県	40歳代 男性	2月26日	不明	あり	ベトナム
12 兵庫県	30歳代 女性	2月26日	不明	あり	ベトナム?
13 兵庫県	20歳代 女性	3月1日頃	なし	不詳	
14 東京都	40歳代 男性	3月2日	1回	なし	
15 埼玉県	20歳代 男性	3月5日	なし	なし	
16 大阪府	30歳代 男性	3月5日	なし	なし	
17 埼玉県	10歳未満 女性	3月6日	なし	あり	ベトナム
18 神奈川県	30歳代 女性	3月6日	なし	不詳	
19 京都府	30歳代 男性	3月7日	不明	あり	接触の疑い
20 兵庫県	40歳代 男性	3月8日	不詳	不詳	
21 滋賀県	20歳代 男性	3月上旬	2回	あり	
22 兵庫県	20歳代 女性	3月13日	不詳	不詳	
23 千葉県	20歳代 女性	3月14日	2回	なし	接触
24 岐阜県	20歳代 女性	3月15日	不明	なし	
25 大阪府	30歳代 男性	3月16日	1回	あり	
26 福岡県	30歳代 男性	3月16日	不明	なし	
27 奈良県	70歳代 男性	3月17日	なし	なし	
28 東京都	20歳代 女性	3月18日	2回	なし	
29 東京都	20歳代 男性	3月20日	2回	あり	
30 京都府	20歳代 男性	3月20日	2回	あり	
31 千葉県	20歳代 男性	3月22日	なし	不詳	
32 埼玉県	30歳代 男性	3月22日	1回	あり	ベトナム
33 愛知県	10歳未満 男性	3月24日	なし	あり	ベトナム
34 大阪府	20歳代 女性	3月24日	2回	なし	接触

全てまでは把握できていません。→ ワクチン歴の不明は自治体が調べた結果。不詳は自治体発表に記載がないもの。

2020年 93,840件 2021年 59,619件 2022年 174,340件 2023年 321,877件 2024年 359,521件 2025年 16,147件



出典：千葉県HP『千葉県の麻疹発生状況 2025年第12週』、国立感染症研究所HP『週別麻疹報告数 2025年 第1～11週(n=32)』、地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所HP『大阪府内で麻疹(はしか)患者が報告されています！世界の状況(2025年3月24日更新)』、Unicef HP『欧州・中央アジア、はしか感染急増 12万7,350件と過去25年で最多 ユニセフ緊急対策を呼び掛け(2025年3月13日)』、WHO HP『Measles and Rubella Global Update March 2025』

日本で2月17日の週以降、麻しんの報告が急に増え、2025年は年始から第11週(3月10日～16日)までの累計報告数は32人となりました。3月31日までにHPで検索できた今年の麻しん34人中、ワクチン接種なしが11人、1回が5人、2回が7人、不明または不詳が11人でした。推定感染地域は第5週～第10週までは海外が多かったのに対し、第11週では海外感染が4人、国内感染が8人となっていました。世界では、コロナ禍にワクチン接種が落ち込み、その影響で2023年頃から大幅に増加していました。2024年にはヨーロッパ地域、東地中海地域、アフリカ地域で全体の86%を占めていました。2025年1月までの6か月間の麻しん患者報告数上位10か国は右下の通りですが、2024年10月下旬以降、日本国内においてベトナムからの輸入症例が相次いでいるとありました。

2024年	イエメン	7,584
8月から	パキスタン	6,661
2025年	インド	6,532
1月の麻しん患者の報告数上位10か国	タイ	6,224
	エチオピア	4,596
	ルーマニア	4,478
	アフガニスタン	4,358
	インドネシア	3,346
	キルギス共和国	2,966
	ベトナム	1,835 (人)

出典：CDC HP『Global Measles Outbreaks』

麻しん風しん(MR)ワクチン不足に対応 ～Ⅰ期・Ⅱ期・風しん第5期定期接種を2年延長へ～

こちらは武田薬品工業株式会社の麻しん風しん(MR)ワクチンで麻しん力価が有効期間の満了前に承認規格を下回る可能性があることが2024年1月に公表され、自主回収や出荷停止、出荷再開後も有効期限の短縮などが行われてきていました。2024年10月出荷予定のロットがまた麻しん力価が出荷に必要とされる条件を満たさず出荷停止になりました。その後、原因の特定や是正措置の実効性を評価するため、2024年度中のお荷見込みなしとなりました。更にその後出荷停止を継続し、2025年1月時点で2025年12月以降の出荷再開を目指すとなりました。武田薬品以外に田辺三菱や第一三共のMRワクチンがありますが、全国的に供給不足となっています。

このことから厚生労働省は麻しん風しんⅠ期及びⅡ期、風しん第5期定期接種の期限を、MRワクチン不足で接種できなかったと市町村長が認めれば2年間延長できるとし、堺市でも2年延長されることが決まりました。なお、風しん第5期定期接種事業の抗体検査は2025年3月31日までに終了している必要があります。麻しんが流行してきていますが、任意接種は接種しづらい状態です。

出典：厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課 各都道府県・市町村・特別区衛生主管部(局)宛事務連絡『麻しん及び風しんの定期の予防接種に係る対応について(令和7年3月11日)』、武田薬品工業株式会社HP『『乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン「タケダ」』出荷停止の継続のお知らせ(2025年1月)』

当科の診療時間帯

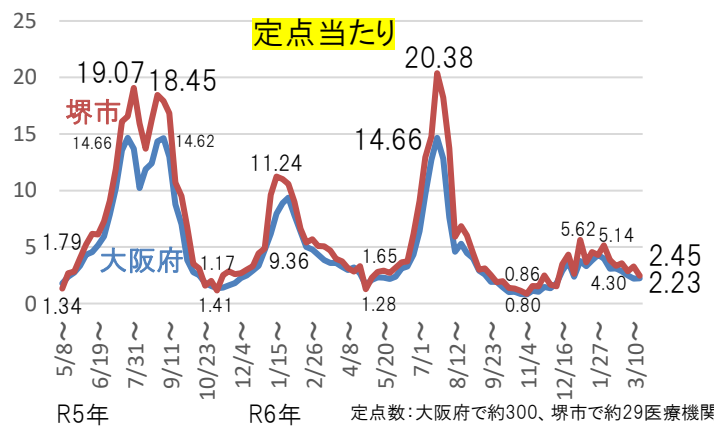
2025年4月の診療時間帯(予告なく変更する場合があります)

9:00～ 9:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
9:30～12:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)
17:00～17:30	感冒症状の全くない方専用(予約不要)
17:30～19:00	何らかの症状のある方(事前予約必要)

※予約された方は無断キャンセルしないでください。他の方の受診機会を奪っています。

想定される感冒症状の全くない方は 乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症など
感冒症状は、発熱、せき、のど痛、はなみず、頭痛、疲労感、筋肉痛、嘔吐、吐き気、下痢、めやに、などを指します。

新型コロナウイルス感染症は小康状態のまま



新型コロナウイルス感染症の定点報告数

期間	大阪府	堺市	期間	大阪府	堺市	期間	大阪府	堺市
R5.5/8～	515	39	10/30～	471	58	4/15～	974	82
5/15～	686	78	11/6～	414	34	4/22～	807	96
5/22～	797	82	11/13～	429	73	4/29～	501	37
5/29～	968	117	11/20～	493	83	5/6～	631	66
6/5～	1,256	152	11/27～	558	75	5/13～	704	81
6/12～	1,324	179	12/4～	695	78	5/20～	692	84
6/19～	1,506	177	12/11～	763	87	5/27～	664	79
6/26～	1,754	211	12/18～	893	96	6/3～	724	92
7/3～	2,300	283	12/25～	1,026	129	6/10～	943	106
7/10～	3,036	346	R6.1/1～	1,444	141	6/17～	1,001	108
7/17～	4,028	467	1/8～	1,891	279	6/24～	1,320	178
7/24～	4,399	480	1/15～	2,436	326	7/1～	1,951	263
7/31～	4,093	534	1/22～	2,718	319	7/8～	2,943	375
8/7～	3,078	446	1/29～	2,863	307	7/15～	3,892	428
8/14～	3,576	384	2/5～	2,863	307	7/22～	4,486	591
8/21～	3,744	455	2/12～	2,400	261	7/29～	3,924	529
8/28～	4,361	535	2/19～	1,958	192	8/5～	2,329	398
9/4～	4,458	520	2/26～	1,540	157	8/12～	1,403	171
9/11～	3,951	488	3/6～	1,470	165	8/19～	1,620	199
9/18～	2,677	310	3/13～	1,333	148	8/26～	1,368	175
9/25～	2,148	276	3/20～	1,181	147	9/2～	1,231	130
10/2～	1,179	196	3/27～	1,101	136	9/9～	890	87
10/9～	849	102	4/3～	1,106	115	9/16～	791	90
10/16～	771	90	4/10～	992	108	9/23～	591	73
10/23～	555	46	4/17～	900	91	9/30～	592	55

新型コロナウイルスの定点報告は令和7年1月6日からの週に堺市で5.62、1月27日からの週に大阪府で4.30、2月3日からの週に堺市で5.14まで上昇したあと、じりじり下がり、3月17日の週は大阪府で2.23、堺市で2.45でした。 出典：大阪府感染症情報センターHP『新型コロナウイルス感染症 発生状況2023年 第19週～2025年 第12週』

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性者数・陽性率(約6か月間)

検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	陽性率			
R6.9/30～	14	0	0%	11/25～	7	1	14%	1/27～	16	0	0%
10/7～	6	0	0%	12/2～	23	0	0%	2/3～	15	2	13%
10/14～	13	2	15%	12/9～	13	0	0%	2/10～	14	1	7%
10/21～	11	0	0%	12/16～	11	0	0%	2/17～	6	1	17%
9/23～	8	1+1	22%	12/23～	19	1	5%	2/24～	7	3	43%
10/28～	7	0	0%	12/30～	3	0	0%	3/3～	15	4	27%
11/4～	7	0	0%	R7.1/6～	15	1	7%	3/10～	13	2	15%
11/11～	10	1	10%	1/13～	13	1	8%	3/17～	7	0	0%
11/18～	5	0	0%	1/20～	4	0	0%	3/24～	2	0	0%

当科の週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、みなし陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)÷(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。2月には7人の陽性の方がいました。3月に入って3日からの週に4人、10日からの週に2人の陽性の方がおられました。

4月・担当医の変更

5日(土) 片桐→赤澤
12日(土) 片桐→赤澤
19日(土) 片桐→赤澤
26日(土) 片桐→赤澤

ゴールデンウィークは暦通りです。